

27D-pm03

次世代を担う若者への薬学教育の取り組み (V) : 高大連携「医療・薬学」講座の開講

○杉原 多公通¹, 飯村 菜穂子¹, 尾崎 昌宣¹, 白崎 仁¹, 酒巻 利行¹, 朝倉 俊成¹, 影向 範昭¹, 星名 賢之助¹, 本澤 忍¹, 北川 幸己¹ (¹新潟薬大薬)

【目的】

新潟薬科大学薬学部では、2008年より次世代を担う若者に対して「薬学」の魅力、薬剤師の職域の広さ、その重要性を伝えるため、毎年趣向を凝らした企画で高大連携「医療・薬学」の開講を進めおり、今年度で7年目を迎える。本講座は中高生はもちろんのこと、一般の方々にも講座を開放し、さらには科目等履修生としての単位を授与する取り組みを行っている。本講座の様子について受講生アンケートとともに報告する。

【講座計画・企画】

平成26年5月から8月の間、全10回の講義、6回の実験講座、これらに加えて医療現場における体験学習を企画し実施した。また本講座は新潟県が主催する「いきいき県民カレッジ」事業としてサポートもして頂いた。本講座は新潟県内に本学を含めた3会場と県外2会場にて開講し、全10回の講義や参加型授業を受講した学生のうち定められた出席数を得た受講生に対して単位認定試験の受験資格を与えた。

【結果・考察】

講義、実験講座を受講した中高生は延べ人数にして約530名、一般人については約130名におよぶ参加者を得ることができ、広く薬学に親しんでもらい、十分に「薬学」の魅力を伝えることができた事業になったと感じている。受講生のうち22名が単位認定試験の受験をし、本学1年生の開講科目である「薬学への招待I (0.5単位)」、「科学と薬学II (0.5単位)」の単位取得ができた学生も多く見られた。